

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社十六フィナンシャルグループ（証券コード:7380）

### 【新規】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的

## 株式会社十六銀行（証券コード: -）

### 【変更】

長期発行体格付	A	→	A+
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的

### ■格付事由

- (1) 十六フィナンシャルグループ（十六 FG）は、持株会社の傘下に十六銀行などを擁する金融グループ。十六銀行は、岐阜市に本店を置く資金量約 6 兆円の地方銀行であり、岐阜県のリーディングバンク。岐阜県のほか愛知県でも積極的に営業を展開し、事業基盤を確立している。JCR は強固な事業基盤、比較的高い収益力や良好な貸出資産の質をこれまでも評価してきた。加えてコア資本比率の改善が進み、また、一層改善していくとみており、十六銀行の格付を 1 ノッチ引き上げた。持株会社体制への移行は、事業領域の拡大や、グループ経営資源配分の最適化などを目的としたものである。グループの資産と収益の大半を十六銀行が占めるため、グループ信用力は十六銀行の発行体格付と同水準の「A+」相当と判断している。持株会社の格付については、キャッシュフロー・バランスとダブルレバレッジ比率に特段の問題がないことから、構造劣後性を反映していない。
- (2) 十六銀行単体の 21/3 期におけるコア業務純益（投資信託の解約益などを除く）は 3 期連続の増益となった。経費の大幅な削減、フィービジネスの増強などを背景としたもので、ROA（コア業務純益ベース）は 0.3% 台と格付対比でみて優位な水準にある。コロナ関連融資の寄与もあって貸出金利の減少は軽微にとどまっている。足元、一層の業務効率化に取り組んでいることなどを踏まえると、コア業務純益は引き続き堅調に推移すると JCR は考えている。グループ各社の連携でソリューション機能を強化し、十六 FG 連結の収益力を高めていけるか注目していく。
- (3) 21 年 6 月末の金融再生法開示債権比率は 1.51%（部分直接償却は未実施）と低い。保守的な引当方針をとっているものの、コロナ禍において与信費用は落ち着いている。景気の先行きがやや不透明なこともあって与信費用の動向に留意が必要であるが、コア業務純益で十分吸収可能な水準にとどまるとみている。有価証券運用においては、円建債券の残高を積み増したことで保有債券にかかる金利リスク量が増加しており資本対比でみてやや大きい。他方、株式や投資信託などにかかる価格変動のリスク量は資本対比でみて抑制されており、また、その他有価証券の評価益がリスクバッファーとして機能している。
- (4) 一般貸倒引当金などを控除した調整後の連結コア資本比率は、21 年 3 月末で 9% 台半ばと格付「A+」の地域銀行に見劣りしない水準にある。収益力が高まったことに加え、貸出や有価証券運用においてリスクアセットのコントロールが図られていることを踏まえると、コア資本比率の改善が続くと JCR はみている。

(担当) 大石 剛・松澤 弘太

## ■格付対象

発行体：株式会社十六フィナンシャルグループ

### 【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

発行体：株式会社十六銀行

### 【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2021年10月1日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三  
主任格付アナリスト：大石 剛
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「銀行等」(2021年10月1日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2019年3月29日)として掲載している。
- 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社十六フィナンシャルグループ  
株式会社十六銀行
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であるか黙示的であるかを問わず、当該情報に、結果として、直接的または間接的な損害、特別損害、間接損害、予見不能であると見られる損害、派生的損害等、一切責任を負いません。また、JCR は、当該情報を使用した場合の結果について一切責任を負いません。JCR は、かかる状況においても、当該情報のあらゆる責任を、無過失責任を要する他の責任原因として負いません。また、当該損害が予見可能であると見られる場合、一切責任を負いません。また、JCR は、格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本書の全部または一部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関 プローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17c-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官 (格付) 第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル